

国立国会図書館
「第18回レファレンス協同データベース事業
担当者研修会」

『講義：レファ協のデータ登録とは
・受講者討議：レファ協へのデータ登録
について考える』

令和4年8月18日(木)・9月/9(金)・9/28(水)

谷本達哉(たにもとたつや)
(国立国会図書館レファレンス協同データベース
事業企画協力員・羽衣国際大学司書課程)

ー講義：レファ協のデータ登録とはー

➤ はじめに

□ 図書館は情報のテーマパーク！

- 「情報」・・・図書、雑誌、新聞、ファイル資料、テープ、ディスク、CD、DVD、BD、インターネット・・・多様な情報メディアがある。
- 「テーマパーク」・・・読む・見る・聴く・調べる、しかもだれでも、いつでも、どこでも・・・自由に使える。
 - － 閲覧、貸出、予約・リクエスト、複写、情報サービス、児童サービス、高齢者サービス、障害者サービス、多文化サービス、課題解決支援サービス、デジタルレファレンスサービス・・・。

✓ そして『レファ協』・・・情報のテーマパーク図書館のサービスの新しい「顔」！

- あらゆるレファレンスサービスの事例を、データとして登録し、図書館(員)は勿論、一般のユーザも自由に利活用できるサービス！

2

－講義：レファ協のデータ登録とは－

➤ところで

□ レファ協の「協同」ですが・・・。

- 「力をあわせて助けあう(仕事)」
 - その中身とは・・・
 - －各図書館に毎日寄せられる質問とそのサービスを可視化して図書館とユーザで共有すること。
 - －サービスの可視化と共有には、レファレンスデータの登録が欠かせない。
- ✓ レファ協の「協同」の原点とは、レファレンスサービスのデータ登録である！

3

－講義：レファ協のデータ登録とは－

➤「事前課題1」に基づいて

□ 「対象事例」と「調査事項」を・・・登録？

- 「なにを(どのようなサービスの事例を)」、「どのように(どういったかたちで)」、レファ協へデータ登録入力しましたか！
 - － 全員の「事前課題1」から、無作為に数件のデータを抽出！
 - － すべてのデータにはコメンテーターからの「コメント」が付与！（他の参加者のデータについてもご覧になっていますよね）
- ✓ 時間内に、みなさま全員のデータに触れることはできません！
- 登録してくださったデータ！そこからレファ協へのデータ登録についての手がかりを探ります！
- （“館種”“こんな工夫”“これもありが”・・・講師の気分で！）

4

—受講者討議—

「レファ協へのデータ登録について考える」

グループ別の意見交換(討議)とその視聴、
全員での内容の共有

5

—受講者討議—

「レファ協へのデータ登録について考える」

➤ 進め方

- 1グループごと順番に、テーマに基づき自由な意見交換、最初は自己紹介も兼ねて(1グループ約15分程度)
- 他のグループは意見交換(討議)の内容を視聴:適宜メモも取ってください。
 - Aグループが意見交換
 - BグループがAグループの話の内容を参考に、意見交換
 - Cグループは、A・Bグループの内容も踏まえて・・・
 - ただし、あくまでも自由な意見交換です!あまり難しく考えないで話しましょう! :これを数回繰り返します!
 - 意見交換(討議)のテーマは、直前に発表します。お楽しみに!

✓ 時間内に、結論が出なくても問題ありません。大切なことはいろいろな意見を出し合って、全員がその内容を共有する!

6

－受講者討議－

「レファ協へのデータ登録について考える」

➤ 第1ラウンド

- テーマ1:「事前課題1から、データを作成してみて感じたこと／データ登録で困っていること・心配なこと」
(15分×3グループ)
- それでは
 - 最初のグループから意見交換(討議しましょう):自己紹介も兼ねて!
 - 他のグループはその内容を視聴してメモ!

※ では、ここからスタートです！

7

－受講者討議－

「レファ協へのデータ登録について考える」

➤ 第2ラウンド

- テーマ2:「継続的にデータ登録を進めるために必要なことは？」(15分)
- 第1ラウンドのすべてのグループの意見交換(討議)も参考にしながら!
 - 内容をメモ!

8

国立国会図書館
「第18回レファレンス協同データベース事業担当者研修会」

レファ協のデータは
「“選ばず”作って・使う」

を進めましょう！

たにもとたつや

